

私学へようこそ！

～私立学校初任者研修中国・四国地区研修会のご案内～



特集

いま、ここに学びの場が

初任研はみんなの学び場
参加者の声
講師からのメッセージ
委員からの歓迎の言葉

令和3年度は愛媛県で開催されました。グループ討議における指導員の先生（中央の2名）と一緒に記念撮影。真夏の強い日差しにも勝る、初々しさと笑顔が印象的です。令和4年度は「晴れの国」とも呼ばれる岡山県での開催です。研修会に参加する皆さんの表情が晴れやかなものとなるように、一生懸命準備をしています！

私立学校初任者研修は私立学校に新たに採用された先生～教員歴5年程度の先生を対象とした研修会です。中国・四国地区研修会は鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知の各県から毎年多くの先生方が参加し、研鑽を積んでいます。



令和4年 8月3日（水）～8月5日（金）

メルパルク岡山（岡山県岡山市）



参加をご希望の場合は、別紙「実施案内」の参加申込書を
日本私学教育研究所宛に郵送またはFAXで送信してください。

一般財団法人

日本私学教育研究所

-The Education Institute for Private schools in Japan-

私立学校初任者研修地区研修会については、研究所HP
や動画等での紹介も行っております。詳しくは右記の
QRコードからご確認ください。





前年度

参加者の声

岡山県
美作高等学校
寒竹 貴敏



マスク越しでも笑顔と分かる参加者。真面目な話もあれば普段の愚痴もあるかもしれませんが、終始和やかな雰囲気グループ討議が進みます。

いま、いっしょに聴けない貴重な話も

ここ数年の中国・四国地区初任研では、学校や教育に直接関わっている講師ばかりでなく、まったく異なる世界・分野で活躍なさっている方をお招きして、興味深いお話をうかがってきました。一日のほとんどを学校や生徒のことに思いを巡らして過ごしている参加者の皆さんにとって、このひとは、なかなか経験することができない貴重な時間です。

こうした貴重な時間をこれからの自分の人生にどのように活かすか、そして教員として日頃の教育活動にどう活かすか、これは皆さん次第です。未知の世界についていかに自分事として考えることができるか、いかに想像力を豊かにして探究心を発揮することができるか…、これから教員として学ぶこと、生きていくことにとって大切な出発点です。

グループ討議で多くの仲間と交流を

グループ討議では、複数の学校の先生方によって構成されるグループを作って、指導員のもとで討議や意見交換を行います。テーマは、研修会前に提出した事前レポートをもとに、教科指導・生徒指導・学級経営などあらゆる分野の問題についてみんなで考え、みんなで話し合います。討議や意見交換を通じて他の先生方の考えや疑問を共有すること、自分の考えや思いを自分のことばで相手に伝えようとすることによって自分の頭が整理されたり、新しい解決方法が浮かんだりすることだつて少なくありません。その場で解決できなかったとしても、同じ悩みや課題をもった先生との会話は、自分自身の教育課題をはっきりと自覚できるという点でも意義あることなのです。

この研修では、自分と同じ立場の人と話し合いができるのでとても和やかで良い雰囲気でした。グループワークでは、自分が疑問に思っていること、また、不安に思っていることは、みんな共通しています。そのため、生徒指導のことや教科指導のこと、特にICTをどのように授業に取り入れたら良いかななどの討議はとても参考になり有意義な時間でした。

業務分業シートでは、どのように仕事をすれば良いかを視覚的に判断できるようになり、大事なことが一目でわかるようになりました。これを使って今でも、仕事の優先順位を決めています。

参加された皆さんは私学で一学期間勤務されて、色々なことを経験されたと思います。この研修を通じて、それを他校の先生方と共有することにより、教員としての新たな気づきがあると思います。



昨年度の受付の様子

ところで、言うまでもなく、ここ二年間は、私たちは新型コロナウイルスの猛威の前に様々な制約を受けてきました。この中国・四国地区初任研も例外ではありませんでした。令和二年度は中止、令和三年度は万全の感染防止対策を行って募集人数を減じて実施しましたが、経験交流会は中止せざるを得ませんでした。その分、指導員の先生方のリードで、グループ討議や休み時間を有効に使って、お互いの交流を図ることに努めました。

さて今年度は、現在のところ「交流会」をぜひ実施したい・・・という願いを込めて計画を立てています。しかしそれでも、かつてのように参加者が自由に会場内を往来してたくさん参加者と言葉を交わすということが実現できるとは限りません。

でもいくつかの制約が必要になったとしても、私たちはこの研修会に参加した先生方に少なくとも「仲間」として学ぶことの素晴らしさを実感していただきたいと考えています。ぜひ会場のいたるところで積極的に言葉を交わし、実り多き研修会となるようつとめてください。

初任研はみんなの「学び」の場



↑ 講義中の課題に熱心に取り組む参加者の先生方。研修は座学ばかりではなく、ペアワークやグループワークも

「私学人」となるための第一歩

私立学校初任者研修は毎年6月～8月に、全国を15地区に分けて実施しています。

中国・四国地区研修会は、エリア内の9県から毎年多くの先生方が参加する研修会です。他地区と比較した時の最大の特徴は、指導員の圧倒的な多さです。指導員とは主に研修会中のグループ討議の際に、それぞれのグループに配置される現職の校長・副校長・教頭先生などのことです。グループ討議の際に、参加する初任の先生方のファシリテーター役を担ったり、時には自らの経験を踏まえてアドバイスをしてくれる…。そんな頼もしい存在が指導員です。

その指導員が開催県に関係なく、鳥取・島根・岡山・広島・山口・徳島・香川・愛媛・高知の、中国・四国地区全県から集まり、皆さんを歓迎してくれます。なぜ、こんなにも指導員の先生が集まるのでしょうか。



こう、考えてみたら?(グループワーク)

中国・四国地区の指導員の先生方が参加者である皆さんに対して歓迎ムードなのは、もちろん理由があります。

それは皆さんが「選ばれし者」だからです。「公立という選択肢もあつたはずなのに、私学教員になってくれた」「私学を盛り上げる一員になってくれるはずだ!」と、私学に勤めることを選択した皆さんに大きな期待を寄せているからです。この研修会では、「私学に勤める教員(私学人)」であることを、考えるきっかけにして欲しいと思います。

高い志を持つて私学の世界に飛び込み、校長先生から「初任研に参加しなさい」と言われた皆さんは、大きな期待をされている、まさしく「選ばれし者」なのです。その皆さんとともに私学を盛り上げるために、指導員の先生方は助力を惜しみません。ぜひ指導員の先生方と一緒に初任研でしっかりと学び、「私学人」になるための最初の一步を踏み出してください。



修了証授与。大いに期待していますよ!

講師からのメッセージ



中山 芳一（なかやま よしかず）

岡山大学教育推進機構 准教授

専門は教育方法学

大学で学生たちのキャリア教育や正課外教育の推進に取り組む一方で、全国各地の小中高の教育現場へ赴き、各校の先生方とこれからの教育実践の構築に勤しんでいる。年間の講演数は200回を数え、著書も多数執筆。主な著書には、『学力テストで測れない非認知能力が子どもを伸ばす』（東京書籍、2018年）や『東大メンタル「ドラゴン校」に学ぶやりたくないことでも結果を出す技術』（日経BP、2021年）などがある。

研修 4

「生徒の非認知能力を伸ばし、評価するために」

高校教育で

認知能力と非認知能力を一体的に育成するために

—主体的に学習に取り組む態度の評価につなげて—

高等学校にもいよいよ新しい学習指導要領が導入され、先生方も指導と評価のあり方について深く考えられていることと拝察いたします。この新しい学習指導要領の柱の一つにはテストで測定困難な「非認知能力(学びに向かう力、人間性等)」というものも位置付けられており、ご存知の通り、大学入試にもかなり影響し始めました。今回は、この非認知能力について先生方と理解を深めていただくとともに、生徒たちの日々の授業(総合的な探究も含む)や正課外活動の中で、いかに認知能力

(いわゆる学力)と一体的に育成し、さらには評価できるのかについて、私からご提案をさせていただければと思います。理論的なお話もさせていただきますが、それ以上に、すでに私がかかわってきている小中高の様々な現場での実践事例も紹介させていただきますながら、できるだけ「小難しくない内容」にしていきたいと思いますので、ぜひお気軽に、そして楽しみにご参加いただければ幸いです。

委員から歓迎の言葉

一般財団法人日本私学教育研究所

私立学校初任者研修地区運営委員(岡山県)

大森 博幸

岡山白陵中学・高等学校 校長



令和4年度の私立学校初任者研修中国・四国地区研修会は8/3～5に岡山で開催されます。開催県の運営委員として一言ご挨拶を申し上げます。

この研修会は令和元年度に鳥取県(米子)で開催され、令和2年度は愛媛県(松山)で開催される予定でしたがコロナ禍で中止になりました。愛媛県の事務局の方々、更に運営委員をはじめとする愛媛県私学の先生方のご尽力でそのままスライドする形で令和3年度は参加人数を絞ったうえで8月に愛媛県(松山)で開催されました。コロナに気を遣いながらの開催でしたが、参加者の皆さんの熱気、やる気が溢れる意義深い研修会になりました。そして、今年度は岡山での開催です。

初任者はそれぞれの学校で日々研鑽に励んでいることと存じますが、一方でいろいろと悩みを抱えているとも思います。新しい時代の教育を担う存在である若い先生方が一堂に会し、2泊3日で講演を聴いたり他校の先生方と議論し合ったり先輩の先生方の指導や助言を仰いだりすることでその悩みの解決の一助にもなり、今後に繋がる貴重な機会になるはずです。「今の自分」を「未来の自分」に繋げていく有意義な研修会になることを期待しています。

今年度は110名定員で全員宿泊での研修になります。日頃と異なる時間と空間の中で参加者全員それぞれが大いに刺激を受けることになると思います。積極的な参加を心よりお待ちしております。

一般財団法人 日本私学教育研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷 UN ビル 6 階

TEL : 03-3222-1621 FAX : 03-3222-1683 研究所 HP : <https://www.shigaku.or.jp>